

英国青年 歓迎レセプション

新しい英国青年を迎えて、9月12日、洞爺総合センターで、2人の歓迎レセプション（国際交流協会主催）が、会員ら約30人が参加して開かれました。

祝賀会では、とうや湖踊る社中による「よさこいソーラン」が披露され、2人を歓迎。その後各テーブルを回りながら会員らと交流を深めました。



各テーブルを回り挨拶する2人

毎年洞爺湖町が、ボランティアとして受け入れている英国青年（男性）2人ステイブリン・アシャーさん（18歳）とカルビン・ホジソンさん（19歳）が9月9日来町しました。



ステイブリン・アシャーさん

ようこそ！ 英国から ボランティア青年来町

洞爺湖町のことやこれからの抱負などを二人に聞きましたので、紹介します。これから英会話教室や町の中で会う機会があると思いますので気軽に声をかけてあげてください。

―出身はどちらですか。

ステイブリン インングランドのグレーターマンチェスターです。カルビン インングランドのカンブリアです。

―洞爺湖町の第1印象はどうですか。



カルビン・ホジソンさん

ステイブリン 町がとてもきれいで、町民の皆さんがとても親切です。

カルビン 美しく、インングランドより非常にあたたかい。町民の皆さんは、親しみやすく、大変歓迎してくれていることが伝わりました。

―日本食で好きな食べ物と嫌いな食べ物は何ですか

ステイブリン ザンギが好きです。苦手なものはイカです。

カルビン 水の駅で食べた豚丼がすごくおいしかったです。苦手なものはイカです。

―今後1年間、洞爺湖町でどんな体験をしたいですか

ステイブリン たくさん日本語や文化を経験して学び、いい思い出を作りたいです。おいしいものもたくさん食べたいです。これから頑張ります。

カルビン この洞爺湖町で一つでも多くのことを経験し、学んでいきたいです。

すいとん食べて平和を誓う

終戦を迎えた8月に合わせ、すいとんを食べながら平和の尊さや大切さを考える「すいとん食べて戦争を語りつぐ集い」（洞爺湖町非核平和のまちづくり実行員会主催）が、8月31日あぶたふれ合いセンターで開催され、子どもから高齢者まで40人が参加しました。

集いでは、新日本婦人の会の皆さんによる合唱がオープニングを飾り、引き続き一人ひとりの行動が大きな変化につながることをサルを通して寓話的に示した「100番目のサル」が上映されました。

その後すいとんの食事会が行われ、参加者から戦争中の体験談や抑留生活の厳しさなどが話されました。

最後に長崎良夫実行委員長が挨拶し「平和をいつまでも大切にして、戦争が起こらない国になってほしい」と訴えました。

これに先立って、戦争と平和展が、8月25日～27日まで役場ロビーで、8月30日～9月1日までとうや水の駅で開催されました。



すいとんを食べながら当時の体験を語り合う皆さん



役場ロビーで行われた戦争と平和展